

【活動事例の紹介】

教室名	吉見小放課後スクール
-----	------------

取組内容

(1) 実施内容

科学教室 令和5年1月21日（土）

テーマ「磁石であそぼう
（磁石を使った物づくり）」



【磁石で自由遊び】

(2) 事前準備

【科学教室】

- ・参加者募集
- ・実施内容の詳細決定の打ち合わせ
- ・参加者に当日の日程や持ち物等詳細の通知を送付
- ・使用するものの材料等の準備
- ・児童へ配付する資料作成

(3) 当日の様子

【科学教室】

参加者は、1年6人、2年2人、3年3人、4年1人、計12人

普段目にしたり使ったりしている身近な素材である磁石のはたらきや性質を実験を通して実感する内容を取り入れた。

鉄を引きつける磁石のはたらき、磁石についての鉄は磁石のはたらきをする。磁石の異極では引き合う、同極ではしりぞけ合う性質を利用した遊びを行った。特にしりぞけ合う性質を利用した遊びでは、普段の生活はものにつけることが多いためかとても楽しんでいった。

さらに、磁石の性質を利用したもの作りでは、はじめに完成した「磁石ブランコ」を提示したところ、児童から、しりぞけ合う性質を利用したものだという発言が出た。その後、全員が「磁石ブランコ」を作ることができ喜んでいった。

今回は、都合がつけば保護者も一緒に参加してもらうようにした。参加した保護者は、子供と一緒に実験を行いながら楽しむことができたようである。



【磁石の性質を利用した遊び】
（磁石の追いかけっこ）

工夫した点・ポイント

- 新型コロナウイルス感染症防止のため、なかなか屋内での活動ができなかったが、今年度は屋内(理科室)で活動できるものを行った。換気はもちろん1つのテーブルに児童2名以下とするなど感染防止対策を十分に行った。
- 児童の送迎は保護者にしてもらっているので、保護者も児童の作業を行ったり、一緒に実験したりすることも可能であることを事前に案内で知らせた。また、当日送ってきた保護者に声かけを行い参加してもらった。参加した保護者からは「子供と一緒に実験できて楽しかった」「親子で楽しめた」などの感想が聞かれた
- 指導者は、運営委員長と運営委員2名、コーディネーターの計4名で行った。

成果・今後の展望

- 今年度は、土曜日に実施したこともあり、参加人数は少なかったが、磁石という身近なものを使った実験を行いとても楽しんでいった。一緒に参加した保護者も子供と一緒に楽しく参加できていたようである。授業日の放課後であればもっと参加人数が増えると思う。実施日を日没の遅い時期にする等検討していきたい。